



町長の補佐役

# 助役2人制を可決

長島町議会は6月30日、定例会を開き、助役定数を2人にし収入役を廃止する条例改正案を可決。川崎鐵夫氏(72)と大堂定憲氏(58)の助役選任に同意しました。これは当分の間、合併による旧2町の融和と県内初の分庁方式による事務機構でのスムーズな行政運営を図るもので、川崎氏は長島町役場に籍を置き、大堂氏は主に指江庁舎の事務を担当することになります。

KAWASAKI



長島町助役  
川崎鐵夫(かわさきてつお)

新町の一体的  
発展のために努力

ODOU



長島町助役  
大堂定憲(おおどうさだのり)

「輪と和」づくり  
に務めます

このたび、新生長島町の助役という大役を仰せつかり、その責任の重大さに、身の引き締まる思いでございます。  
申すまでもなく、助役の任務は、町長の補佐役であり、また職員を指導監督し、そのよき相談役でなければなりません。  
「語ります。動きまます」をキャッチフレーズに当選された川添町長が、いかに町民の意向を汲み取り、関係者と語り、そして動きやすいように、しっかりと内を守り、環境を整えていくのが、最大の役目だと理解し

ております。  
また、収入役兼掌につきましては、コンプライアンス、即ち関係法令を遵守し、的確に会計事務を、執行してまいる所存でございます。  
もとより浅学非才、未熟者ではございますが、新長島町の一体的発展のため、最大限の努力を尽くしてまいりたい覚悟でございます。どうか町民の皆さま方、ご協力ご指導を賜りませう、よろしくお願ひ申し上げます。ごあいさつといたします。

町民の皆さまには、ますますご健勝のことと心からお喜び申し上げます。  
不肖私、このたび町長のご推薦と町議会の同意をいただきまして、7月1日から新生「長島町」の助役に就任いたしました。  
今や国・地方ともに大きな転換期を迎えており、本町も合併という大事業を成し遂げたばかりでございます。本町にとって合併は未知の世界であり、各分野で混乱や不安が生じることも予想されます。新しい町づくり

のためには、旧二町の融和が欠かせないと思っております。  
微力ではありますが、町職員としての行政経験を生かし、町長の補佐役として、また町民の皆さまと町長とのクッションとして、「輪と和」づくりに務めます。  
なお、私は、主に指江庁舎の担当助役となります。気軽に立ち寄り、お話しください。  
今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。